

2026 年上半期業績：ボッシュ、業績見通しを維持 競争力および事業基盤の強化に注力

2026 年 9 月 23 日
PI 12131 RB Ka/hg

- ▶ 売上高 464 億ユーロ（2025 年上半期：448 億ユーロ、3.6%増）
- ▶ 事業からの支払金利税金控除前利益率：4.6%（2025 年上半期：5.1%）／特殊要因が事業からの支払金利税金控除前利益率を圧迫／フリーキャッシュフロー：マイナス 9 億 6,900 万ユーロ
- ▶ 2026 年の年間見通しを維持：売上成長率 2～5%／事業からの支払金利税金控除前利益率 4～6%／売上高の少なくとも 1%に相当するフリーキャッシュフロー
- ▶ マルクス・フォーシュナー：「上半期に堅調な売上成長を達成し 2026 年も終盤に差しかかっていますが、下半期も引き続き力強い成果を上げることが重要です」

シュトゥットガルト（ドイツ）－グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュ・グループは、依然として厳しい事業環境が続く中、2026 年上半期も堅実な業績を記録しました。ボッシュの 2026 年上半期の売上高は、前年同期比 3.6%増の 464 億ユーロとなりました（2025 年上半期：448 億ユーロ）。このほどジョンソンコントロールズおよび日立から買収した暖房・換気・空調（HVAC）事業が、約 20 億ユーロの増収に寄与しました。事業からの支払金利税金控除前利益は 22 億ユーロでした（2025 年上半期：23 億ユーロ）。事業からの支払金利税金控除前利益率は売上高の 4.6%で、前年の 5.1%を下回りました。これは主に、モビリティ事業の特殊要因によるものです。ボッシュは不確実な経済状況や世界各地の政情不安にもかかわらず、2026 年通期の堅調な売上高および業績見通しを維持しています。ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー兼財務担当取締役 [マルクス・フォーシュナー](#)は、「上半期に堅調な売上成長を達成し 2026 年も終盤に差しかかっていますが、下半期も引き続き力強い成果を上げることが重要です」と、初の上半期業績発表に際し述べました。「だからこそ、私たちは現在進めている構造調整およびコスト削減策を着実に推進しています。これにより、将来有望な技術分野への大規模な先行投資を継続するとともに、成長機会を確実に取り込んでいきます」

2026 年下半期の展望：競争力と強固な事業基盤

2026 年の世界経済は、全体として驚くほどの回復力を見せています。一方でボッシュでは、経済見通しについて依然として不確実性が続くと考えており、多くの市場で投資判断の先送りや競争圧力の高まりにつながると見ています。主要産業である自動車分野では、2026 年も世界の乗用車および小型商用車の生産台数が減少する一方、大型商用車の生産台数はわずかに増加すると予測しています。

「ボッシュは、世界的に不確実な状況であっても成長戦略を着実に推進し、新技術、新事業分野、新興成長市場における機会を最大限に活用します」と、フォーシュナーは説明しました。「だからこそ、下半期も引き続き競争力の強化と強固な事業基盤の維持に注力し、さらなるコスト削減と複雑性の軽減を進めます」。厳しい環境にもかかわらず、ボッシュは堅調な業績見通しを維持しています。2026 年度、売上成長率は依然として 2～5% 前後、事業からの支払金利税金控除前利益率は 4～6% と予測しています。

2026 年上半期の総括：事業セクター別の業績

事業セクターの売上成長には差が見られたものの、全事業セクターが業績にプラスの貢献をしました。**モビリティ**事業セクターの売上高は 278 億ユーロで、前年比 0.5% 減、為替調整後は 2.3% 増でした。自動車生産高の停滞に加え、一時的な特殊要因も収益を圧迫しました。後者は主に、生産設備の減損損失が総額 2 億 7,000 万ユーロに達したためで、世界的な電動化の普及拡大も以前の予想を下回っています。事業からの支払金利税金控除前利益率は 4.7% でした（2025 年上半期：5.8%）。**産業機器テクノロジー**事業セクターの売上高は、受注状況の改善を反映して 6.8% 増（為替調整後は 9.2%）の 34 億ユーロに達しました。支払金利税金控除前利益率は 2.5% でした（2025 年上半期：4.5%）。**消費財**事業セクターの売上高は、中国のサプライヤーとの競争激化により、前年同期比 2.9% 減の 96 億ユーロと減少しました。為替調整後の売上高は前年並みで、事業からの支払金利税金控除前利益率は 4.4% でした（2025 年上半期：5.1%）。**エネルギー・ビルディングテクノロジー**事業セクターは、ホームコンフォート部門における買収により、売上高は 45.9% 増の 54 億ユーロに達しました。このうち、約 20 億ユーロは買収による増収分です。ビルディングテクノロジー製品事業の大部分を売却した結果、売上高は約 4 億 5,000 万ユーロ減少しました。為替調整後の売上成長率は 52.0%、事業からの支払金利税金控除前利益率は 7.3% でした（2025 年上半期：0.8%）。

2026 年上半期の総括：地域別の業績

2026 年上半期の世界経済は、地政学的な緊張の高まりを背景に成長が鈍化しました。特に中東情勢や現在も続くウクライナ戦争が、グローバル市場に重くのしかかり、すべての地域で為替レートの影響によって売上高の伸びが鈍化しました。**欧州地域**の売上高は 1.4% 増の 224 億ユーロ、為替調整後は 2.2% 増となりました。**北中南米地域**の売上高は 5.7% 増の 94 億ユーロに達し、為替調整後は 12.2% を記録しました。**アジア太平洋地域**の売上高は 5.9% 増の 146 億ユーロ、為替調整後は 10.4% 増となりました。北中南米地域およびアジア太平洋地

域における好調な業績には、ボッシュ・ホームコンフォートにおける買収が大きく寄与しました。

2026 年上半期の総括：従業員数の推移

2026 年 6 月末時点のボッシュ・グループの従業員数は 40 万 6,225 人で、2025 年 12 月 31 日時点の 41 万 2,774 人から 6,549 人減少しました。従業員数の減少はすべての事業セクターに影響を与えましたが、特にモビリティ事業セクターへの影響は大きいものでした。地域別に見ると、従業員数の減少幅が最も大きかったのは欧州でした。ドイツ国内の従業員数は 11 万 8,932 人となり、2025 年 12 月 31 日時点の 12 万 2,968 人より、4,036 人減少しました。

2026 年上半期の総括：高い財務力、流動性、研究開発比率

連結キャッシュフロー計算書上の手元資金は、前年同期の 112 億ユーロを下回る 90 億ユーロとなったものの、ボッシュ・グループの財務基盤は引き続き強固で、自己資本比率は 41.3%と高い水準にとどまりました（2025 年 12 月 31 日：41.5%¹）。資本効率の改善を反映して、投資比率は 2.5%（2025 年上半期：3.8%）、設備投資額は総額 12 億ユーロ（2025 年上半期：17 億ユーロ）、研究開発比率は 8.0%（2025 年上半期：8.7%）でした。2026 年 6 月 30 日時点のフリーキャッシュフロー（FCF）はマイナス 9 億 6,900 万ユーロとなりましたが、昨年同期のマイナス 27 億ユーロから大幅に改善しました。このような中間期におけるフリーキャッシュフローの推移は、多くの企業で見られる一般的な傾向です。主な要因は、有形資産への設備投資が季節的に集中することや、年度末に増加した債務の支払いが、第 1 四半期に集中したことがあげられます。ボッシュは、2026 年末時点で売上高の少なくとも 1%に相当するプラスのフリーキャッシュフローを計上できると見込んでいます。

**報道写真およびインフォチャートは、ボッシュ・メディア・サービス
(www.bosch-press.com) でご覧いただけます。**

報道関係対応窓口：

コーポレート・事業・財務関連：

Sven Kahn, e-mail: Sven.Kahn@de.bosch.com

電話：+49 711 811 6415

人事・社会福祉：

Nora Lenz-Gaspary, e-mail: NoraKatharina.Lenz-Gaspary@de.bosch.com

電話：+49 711 811 13315

¹前年度の数値は、ホームコンフォートの M&A に伴う最終的な連結決算を受けて調整されたものです。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2025 年の従業員数は約 41 万 3,000 人（2025 年 12 月 31 日現在）、売上高は 910 億ユーロ（約 15.4 兆円*）を計上しています。ボッシュはモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 つの事業領域を展開しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、デジタライゼーション、電動化、AI の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することをめざしています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュは、ハードウェア、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化と AI に関する専門知識を応用し、インテリジェントかつユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 500 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、約 8 万 2,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ（1861～1942 年）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 94% は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュ GmbH および創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2025 年の為替平均レート、1 ユーロ = 168.9731 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英語）

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英語）

[@BoschPress](#) ボッシュ・メディア 公式 X（ドイツ語）

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト（日本語）

[@BoschJapan](#) ボッシュ・ジャパン 公式 X（日本語）

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック（日本語）

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube（日本語）

<https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/> ボッシュ・ジャパン 公式 LinkedIn（日本語）